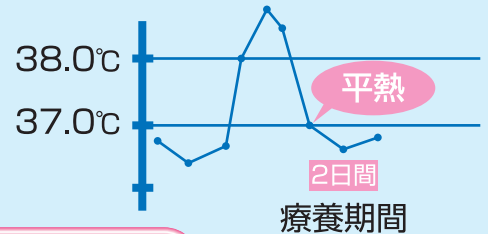


自宅療養後に熱がさがった人の外出について

自宅療養中に熱がさがった場合

熱がさがっても、インフルエンザの感染力は残っていて、あなたは他の人に感染させる可能性があります。

完全に感染力がなくなる時期については、明らかでなく、個人差も大きいと言われます。少なくとも**次の期間は外出しないように心がけましょう。**



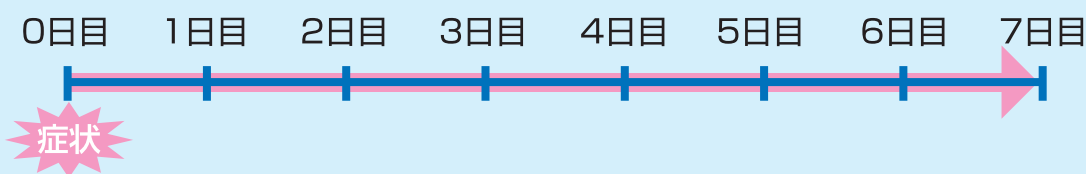
熱がさがってから2日目まで

ただし、現在流行している新型インフルエンザについては、発熱などの症状がなくなっても、しばらく感染力がつづく可能性があることが、様々な調査によって明らかになりました。

ですから、あなたが新型インフルエンザに感染していると診断されている場合や、あなたの周囲で新型インフルエンザが流行している場合には、発熱などの症状がなくなっても、**周囲の方を守るため、さらに次の期間についてもできるだけ外出しないようにしてください。**



発熱や咳（せき）、のどの痛みなど
症状がはじまった日の翌日から7日目まで



濃厚接触者の方へ

濃厚接触者の方は、出来るだけ外出を自粛するとともに、やむを得ず、外出する場合は、マスクの着用をお願いします。

また、発熱等の症状が出た場合は、速やかに、医療機関の受診をお願いします。

※濃厚接触者とは、患者と同じ家に住んでいる方や、患者に手で触れることや会話ができる距離で、マスク等を正しく着用せずに、対面で会話等の接触があった方等です。